

秋月っ子

第1号

平成25年3月10日

発行 秋月友の会

問合せ先 熊谷 090-8245-6452

秋月中学校生徒健大活躍(★^_^★)

☆中学生が出演します☆

4/13 (土) 14:00~

ラジオ「しゅうなんFM」

今回のボランティアの感想などを発表します。

秋月っ子の素晴らしい歌声

を聞いてください!!

3/2 (土) 3 (日) に行われた秋月公民館文化祭に今年は合計23人の中学生にボランティアスタッフとして参加していただきました。

天候にも恵まれ、焼き芋、綿菓子、スーパーボール救いのブース出店を通して地域の方と触れ合い、お客さんに喜んでもらうことで、やりがいを感じ人間性を高めるための一つになればと願っています。

今回の出店で5347円の利益がありましたので児童養護施設に寄付をいたします。

今回の中学生ボランティアの参加にあたり、中学生はもちろん、送り出してくださった保護者の皆様、募集要項の配布等で協力してくださった秋月中学校様、また活動中暖かく見守ってくれた地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

秋月友の会

副会長 土井 裕幸



今回のボランティアをして本当に良かったと思います。

私はわたがし作りをしました。最初は分からないことばかりでしたが、大人の方たちが優しく丁寧に教えてくださったので、とても充実して活動することができました。お客さんから「ありがとね」とか、「おいしかったよ」と様々な言葉をいただきとても嬉しくやってよかったなと思いました。時にはお客さんを待たせてしまったりして少し迷惑をかけることがあり、そこは反省しています。

でもわたがしを渡したときとかに喜んでもらったりして笑顔が見れて、このボランティアに参加して本当によかったと思いました。このボランティアで一番苦労したことは、どうやったらお客さんが買ってくれるか考えたことです。だんだんお客さんが減ってきて呼び込みをしてもなかなか来てくれず苦労しました。でもさらに大きい声で明るく笑顔で言うと、店の前で立ち止まったり、買ってくれる方まで出てきました。その時は本当に嬉しかったです。今回のボランティアを通して様々なことを学ばせていただきとても感謝しています。そしてまたこのようなボランティアがあるのなら積極的に参加したいと思います。



秋月中学校2年 石橋 里菜

私が大変だったのは行列ができたときです。理由は早く作らないといけないし、小さすぎてもいけないので大変でした。

でも、沢山の人が喜んでもらえてとても嬉しかったです。沢山の人が笑顔で帰ってくれたのがよかったです。

反省するところは、わたがしづくりに夢中になっていて、お客さんがいることに気づかなかったことです。

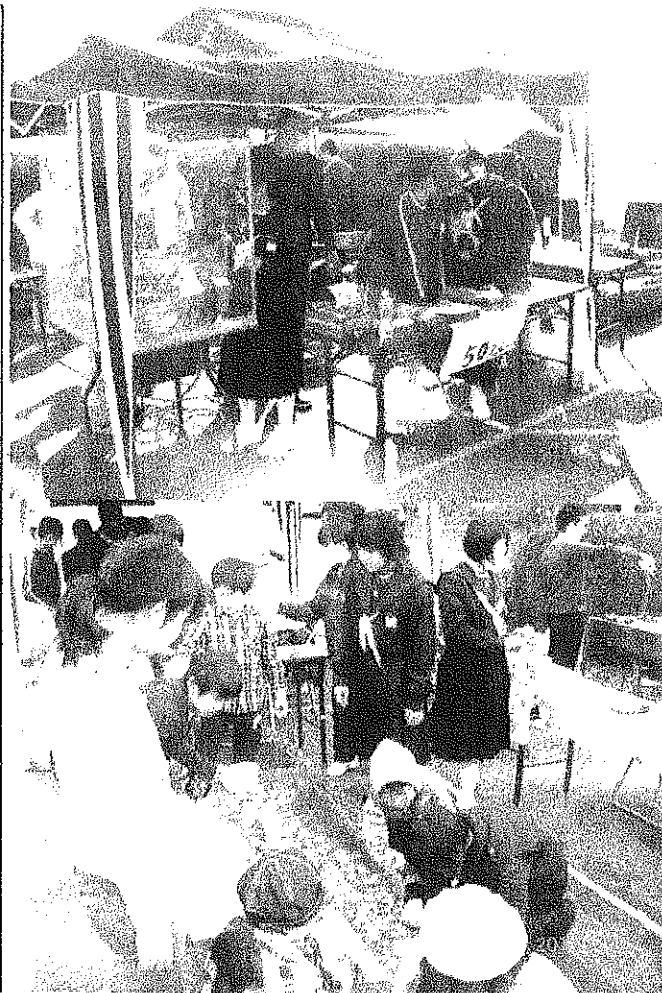
私がわたがし作りで、手がべちょべちょになったり顔やかみについて大変だったけどやっぱりとても楽しかったです。

わたがしを作る機械がこわれたときにはびっくりしたけど最後はちゃんと治っていてよかったです。

幼稚園の子が来る時、1台しか使うことができなくて、みんなを待たせたのはかわいそうだなと思いました。

またこういうボランティア活動があるなら進んで参加していきたいです。

秋月中学校2年 伊垢離友香



私は公民館文化祭のボランティアに参加してたくさんのよい経験をすることができました。今回私たちは綿菓子、スーパーボール救い焼き芋の三種類のブースに分かれ活動しました。

私は、その中で綿菓子の担当でした。綿菓子は一見作るの簡単そうでしたが、いざ作ってみると、あのまんまるくてふわっとした形にするのはとても難しく慣れるまでには時間がかかり苦労しました。また綿菓子を作る時、その日が強風というのもありましたが、体中に綿菓子がくっつきこの点もとても苦労しました。

けれど、綿菓子を買いに来てくれたお客さんが笑顔で買って下さり時には「頑張ってるね」など声をかけてくださったりと、それは本当に「頑張って作ってよかった」と思いました。

私はこういう地域のために、という経験は何度もできるものではないと思います。けれど地域の行事の裏側を自分で経験して見るからこそ、地域の方々の温かい心にふれ、もっと身近に感じる事ができ、また改めて日頃の地域の方々の優しさや温かさを感じることができました。またこういったことがあればぜひ参加しようと思います。

秋月中学校2年 長光明日香